

# 『伊能忠敬研究』 第71号 目次一覧

■頁 表紙は -1、表紙解説・目次は 0 としています。  
 ■凡 例 [ジャンル] ●=日記 ■=史料・資料 ◎=伊能忠敬 ○=周囲の人物 △=史跡めぐり  
 [表 題] 《 》=誤記の訂正 例：伊能図探究 第一〇号 伊能図見て歩き (三) 《 (四) 正当》  
 [ ]=内容の注記 例：伊能家文書紹介 十一 その二 枇榔嶋〔日向国臼杵郡〕

号数	ジャンル	番号	表題	著者	号-頁	発行日
71号	表紙	1	表紙 伊能忠敬研究 二〇一三年 第七十一号 史料と伊能図	伊能忠敬研究会	71--1	20131225
		2	表紙解説 伊能大図一一七号 鳥羽 (アメリカ議会図書館蔵)	渡辺 一郎	71-0	
		3	目次		71-0	
	グラビア	4	伊能図の旅	星 埜	71-1	
			大図第五八号の部分 銚子		71-2	
			大図第一五号の部分 手売島と焼尻島		71-4	
	◎女性の手紙	5	伊能忠敬周辺の女性の手紙 (三) -小島一仁先生古文書講座の史料から-	加藤 時男	71-6	
			①ふさ〔忠敬の姉〕の手紙〔婦さより〕		71-8	
			②三七の手紙		71-10	
			歌人 伊藤左千夫生家 成東・東金 食虫植物群落			
	◎新説伊能忠敬物語	6	連載 新説 伊能忠敬物語 第二話	渡辺 一郎	71-11	
			伊能忠敬はなぜ測量をはじめたか (2)		71-15	
			内妻お栄と天体観測 日本や中国の天文学では冬至の瞬間を暦計算の基準点としていた 深川で緯度一度を測る		71-17	
	◎伊能測量漫筆	7	コラム 伊能測量漫筆 忠敬の時代	渡辺 一郎	71-21	
	話題	7	八代将軍徳川吉宗は、延享二年九月二五日〔1745.10.20〕まで在職、没年は宝暦元年《寛延四年 正当》六月二〇日〔1751.07.12〕。伊能忠敬幼名三治郎の出生は延享二年一月十一日〔1745.02.11〕だから、吉宗の将軍時代と7ヵ月《八ヵ月 正当》余りダブる。忠敬と一字違いの大岡忠相〔ただすけ〕。この人の没年は宝暦元年十二月十九日〔1752.02.03〕だから、七年ばかり重なる 日本東半分の伊能図を見た将軍家斉は何歳だったろう。先年は安永二年十月五日〔1773.11.18〕、将軍就任は天明七年四月十五日〔1787.05.31〕、忠敬が台覧に供した文化元年九月六日〔1804.10.09〕は三一歳〔満30歳〕だった。ヨーロッパではモーツァルトの時代〔1756.01.27ザルツブルク生まれ～1791.12.05ウィーン没満35歳〕	渡辺 一郎	71-21	
	忠敬談話室	8	八丈島図を見ながら	伊能 楯雄	71-22	
	訂正	9	訂正とお詫び 第70号15頁 日本水準原点 (国会議事堂前庭) 伊能洋氏描画		71-24	
		10	訂正とお詫び 第70号裏表紙		71-24	
	△伊能探訪のすすめ	11	伊能探訪のすすめ- "三種の神器、を携えて- 下呂温泉と伊能忠敬 宿所・武川久兵衛の子孫を訪ねて 北海道開発の先駆者 飛驒屋久兵衛	河崎 倫代	71-25	
				71-26		
				71-27		
忠敬談話室	12	コラム 伊能探訪と会報への投稿お願い	河崎 倫代	71-27		
山武歳時記	13	山武歳時記 (四) -北総台地 晩秋の風物詩- 「落花生のポッチ」	江口 俊子〔画も〕	71-28		
■測量隊の足跡をたどる	14	「伊能忠敬測量隊の足跡をたどる」連載第八回〔第5次測量 (山陰海岸) 1806.06.30～1806.12.24 (文化03.05.14～文化03.11.15)〕	監修 渡辺 一郎 編著 井上 辰男	71-29		
石川県支部だより	15	金沢市立犀川小学校でミニ大図展	河崎 倫代	71-46		
	16	珠洲 (すず) 市史跡めぐり-珠洲っ子、伊能忠敬と出会う-	河崎 倫代	71-47		
	17	「伊能忠敬没後二百年記念誌」発行に向けて	河崎 倫代	71-48		
お知らせ	18	伊能測量記念碑除幕式盛大に挙行	高安	71-48		
奥付	19	投稿要領・研究会案内・HP・編集後記 (H)	(H)	71-49		

号数	ジャンル	番号	表題	著者	号-頁	発行日
71号	奥付	20	2013年12月25日発行 発行 鈴木 純子 伊能忠敬研究会	編集 高安 克己 発行 鈴木 純子	71-49	20131225